

夏に多いこどもの皮膚トラブル ～あせもについて～

1. なぜ、夏にこどもの皮膚トラブルが多いのですか？

こどもの皮膚は薄く敏感で、皮膚面積の割合に対して汗腺が多いからです。

2. どんなトラブルが多いですか？

あせもや、とびひ(伝染性膿痂疹)、水いぼ(伝染性軟属腫)が多くなります。

今回はあせもについて説明したいと思います。

3. あせもの原因は？

汗の出口(汗孔)がつまり、汗が皮膚の内部にしみ出し、炎症を起こすことが原因です。

4. あせもの特徴は？

額、鼻、首回り、背中など汗のかきやすい部分に多く、

小さな水疱状のブツブツ(白いあせも)と赤くかゆみを伴う小さいブツブツ(赤いあせも)があります。

5. あせもの予防法・対処法は？

1. 汗をかいたままにしない。
 2. 汗をかいたらすぐにぬれたタオルでふく。
 3. シャワーを浴び、よく水分をふきとる。
 4. 通気性、吸収性のよい衣服を身につける。
 5. 冷房を上手く利用して、汗をかかない環境をつくる。
- かゆみや炎症がひどい場合はステロイド剤の軟膏を使うことです。

6. あせもを放置していても大丈夫ですか？

かゆみが強い場合は掻き壊し、とびひになってしまう場合があります。

アトピー性皮膚炎のお子さんは汗によって皮膚の状態が悪化することがあります。

たかが、あせもと放置しないで、かかりつけ医を受診しましょう

7. ベビーパウダーは使っても良いですか？

ベビーパウダーは汗を吸収して肌を乾燥させ、あせもの予防になります。

使い方は、皮膚が乾燥した状態で、薄くつけることが重要です。

あせもができてからでは、かえってあせもを悪化させます。

あせもが出来てからの使用はやめて下さい。